



市道算所309号線の利用者の安全を確保するための道路整備

○道路交通安全対策事業費／算所309号線 2,600万円

【概要】 市道算所309号線は、主要地方道鈴鹿環状線を起点に市道西条道伯線へとつながる重要な道路であり、隣接する中学校の通学路に指定されている。朝の通勤通学時間帯は、通勤車両と通学生徒が相まって混雑し危険な状態となっているため、すべての道路利用者の安全を確保するために歩道の新設ならびに路肩整備を含む車道の拡幅整備を行うもの。

質疑 対象となる区間および整備内容はどのようなものか。

答弁 主要地方道 鈴鹿環状線（通称：中央道路）の算所公園前交差点南から三重県立飯野高等学校までの区間約680mを道路改良する。内容としては、対象区間において道路保全課が片側（西側）に自転車・歩行者道の新設を行い、道路整備課が路肩整備（東側）を含む車道拡幅を行う。

C-BUSの運行と利便性向上

○西部地域C-BUS運行事業費 1億139万6,000円

○南部地域C-BUS運行事業費 8,779万9,000円

【概要】 西部地域、南部地域においてコミュニティバス（C-BUS）を各地域2路線運行するもの。

質疑 昨年度と比較して、西部地域の事業費を増額し、南部地域の事業費を減額とした理由。

答弁 西部地域の事業費増額については、人件費や燃料代などの高騰によるものが原因で、南部地域の事業費減額については、南部地域の路線見直しの必要が生じた場合に調査・検証のための費用を計上していた。しかし、実際は、路線見直しを行わなかったことから、令和6年度と令和7年度を比較して減額となっている。

質疑 バス・ロケーションシステム（※）の導入費用について。

答弁 西部地域・南部地域ともに、C-BUSにおいて、同システムを導入する予定であり、両地域の運行台数に応じて、予算を振り分けて計上している。



※GPSなどを利用して、車両の位置情報を把握し、利用者にスマートフォンを通じて運行状況を提供するシステム。これにより、バスの運行状況（渋滞によるバスの遅延状況など）を把握することができるようになる。